



The Cock

若田勇輔 Yusuke WAKATA

六甲山の北西の地域には、神功皇后が金の鶏を埋めたという伝説が伝えられていて、作品はこの伝説を基に作られました。

伝説では、その金鶏は村が衰えた時でない限り、掘り出してはならないとされ、埋められた場所の大石に腰かけた村人は病気になって苦しんだと言えられています。作者はその伝説の鶏を小さなプラスチック製の金の花びらを集積させて作りました。古代の伝説が今もお畏怖を持って語り継がれていることと、現代においてはこうした伝説が花びらのように儂いものであるという二つの側面を作者は表現したいと考えています。



シンデレラ Cinderella

宇野亞喜良 Aquirax UNO

この作品は、六甲オルゴールミュージアムと1950年代から第一線で活躍している日本を代表するイラストレーター、グラフィックデザイナーの一人である宇野亞喜良がコラボレーションしました。

作者が2017年に発表した『シンデレラ』（発行：フレーベル館、文：石津ちひろ）の挿絵を、物語に沿って大きなスクリーンに映し出し、スタッフが朗読したり、その場面に合わせた曲をオルゴールなどの自動演奏楽器で演奏したりするというものです。イラストに演劇的要素と音楽が加わって、「シンデレラ」の物語世界をより立体的に感じることができる上演作品です。



MORI_{NO}DIAGRAM

市川平 Taira ICHIKAWA

彫刻家としてそのキャリアをスタートさせた作者、1990年代初頭から光を作品に取り入れ、更に光源を移動させる表現をスタートさせています。多くの場合それらは視覚的に興味深い効果を生むと共に、SF的な印象が形作られました。各地で精力的に作品を発表すると共に、2015年には元彫刻家の特殊照明家と宣言を行い、以後、多くのアーティストとのコラボレーションを実施。美術イベントに非公式参加を行うなど独特な活動を進めています。本展では夜の六甲山の景色を一変させるダイナミックな作品を発表しました。複数の動く光源はその青白い独特な光で近未来的な光と影の森林を作り出します。



MAHO_{NO}MORI

Magical forest

秦まりの Marino HATA

作者は、版画の技法であるシルクスクリーンで作品を作るアーティストです。平面の作品とともに、ぬいぐるみのような立体作品を組み合わせた展示を行っています。作品には、カラフルでPOPな色彩で描かれた、不思議なキャラクターたちが登場します。初めての屋外での展示となる今回のテーマは、「魔法の森」です。作者は作品に、次のようなメッセージを寄せています。

もし魔法が使えるなら何がしたい？

空を飛んだり、透明人間になったり、時間を戻したり、未来を見たり、
お金が沢山あったり、好きな食べ物をお腹いっぱい食べたり、
大好きな人と想いが伝わりあったり。

魔法の森

それはいろんな願いが叶う、不思議な森。

あなたの「魔法の森」を想像しながら、作品を鑑賞してみてください。



Style doll

小出ナオキ Naoki KOIDE

この作品は、作者の子どもが家で行う人形遊びがテーマです。

作品は子どもが作り出した着せ替え人形の二つの対照的な世界に分かれています。ひとつは、明るくかわいく華やかな世界と、もうひとつは日陰の暗い静寂の世界です。作者はこの二つの世界を、前者を主に陶器で、後者を主に木材を使って街のようなオブジェの集合体を作り、表現しました。子どもによって作り出された想像の世界に作者が巻き込まれながら、作品には家族の結びつきや親子の関係、親が子どもを想う気持ちなどが込められています。



BPM

國久真有 Mayu KUNITIHISA

作者は、平面に絵の具を使って絵を描くアーティストです。近年彼女が取り組んでいる絵画シリーズが、「wit-wit」です。このシリーズは作者が腕を伸ばして筆を持ち、自身の体を中心軸にして遠心力を利用して半円を描き、それを幾重にも重ねていくという作品です。

円の半径は作者の半身と腕の長さを超えることはありません。その大きさの円を移動しながら無数に重ねて、画面を埋めて行きます。円は何十にも重なりながら、色の濃淡も加わって、立体的に立ち上がって、見る人を包み込みます。



Texture of Energy

中森大樹 Daiki NAKAMORI

この作品では、加えられた力を電気エネルギーに変換する発電素材と LED を使って、六甲山の風を可視化する装置が並べられています。細い棒の先に発電装置をつけて、風を受けて揺れることで、発電して光るというものです。吹く風の強さ、方向によって、LED の光の強さや動きが変化します。

多数の装置が並べられることで、気まぐれな風によってそれぞれの装置が揺れ動き作り出される光景は、暗闇の中を蛍が思い思いに飛び回るような様子に近い。ここに吹く目に見えない風の姿、エネルギーを量としてではなく、もっと複雑なものであることを見せようとしています。